



スマホであつめよう！

なごやいきものクエスト 2024

Report

スマホで撮影した生きものの写真を投稿すると生きものの種類をAIが判定するアプリ「Biome」を活用し、名古屋市内の身近な生きものを探すオンライン参加型イベントを開催しました。

実施期間

**2024年6月1日
～8月31日
(92日間)**

参加者数

1,761人

投稿数

25,314件

みつけた数

3,795種類

使ったツール

バイオーム

Biome

▼ アプリの詳細はこちら

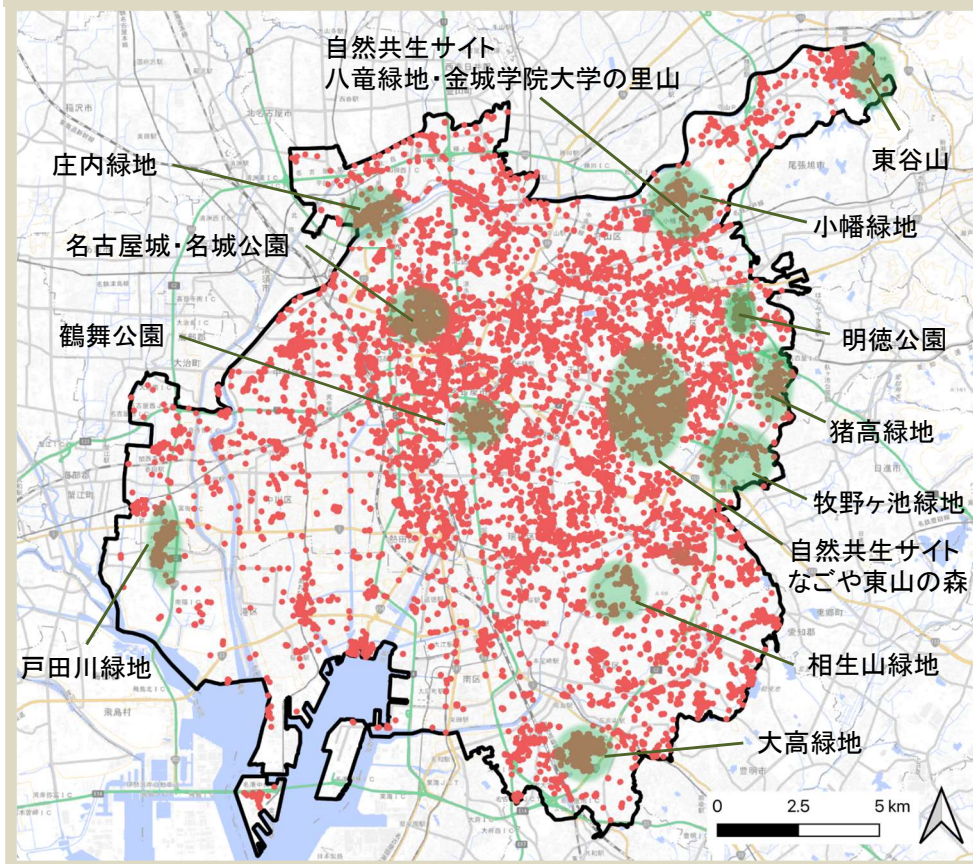




なごやで 見つけた いきもの

名古屋の身近な自然にも生きものがたくさん！
どこで見つけたかな？
投稿が多かった場所をまとめてみました。

名古屋市内の投稿があった場所



区別投稿数ランキング

1

千種区

3,635

注目ポイント

なごや東山の森で1,838
の投稿がありました！

2

東区

3,235

明和高校周辺での投稿
が目立ちました！

3

緑区

2,576

大高緑地で475の投稿
がありました！



なごやで 見つけた いきもの

どんな生きものが見つかったかな？
投稿された生きものの一部をまとめてみました。

生きものランキング

1



クマゼミ

402 投稿

アブラゼミを大きく引き離し、なごやいきものクエスト2023に引き続き1位です！温暖な地域で見られるセミで、サクラやケヤキなどの広葉樹に生息します。「シャアシャア」と大きくて甲高い鳴き声です。

2



エノコログサ 262 投稿

猫じゃらしの名でも親しまれているエノコログサは、穀物の「粟」の原種とされています。実は、縄文時代に渡来してきた植物で、全国に広がっています。

3



アブラゼミ 250 投稿

「なごや生きもの一斉調査2016～セミの抜け殻編～」では、名古屋市内で一番多く見つけたセミですが、2024年もクマゼミより少ない投稿となりました。「ジリジリ…」と大きな声で鳴きます。

4



ショウリョウバッタ

とがった頭が特徴です

227 投稿

8



ハシボソガラス

雑食性でなんでも食べます

165 投稿

5



ヒメジョオン

繁殖力が強い侵略的外来種

193 投稿

9



オカダンゴムシ

エビやカニと同じ甲殻類です

163 投稿

6



シチヘンゲ

様々な環境で育つ生態系被害防止外来種

167 投稿

10



アオドウガネ

色々な植物を食べるので害虫と呼ばれてしまうことも…

155 投稿

7



ツマグロヒョウモン

幼虫はスミレ類の植物が大好き

166 投稿



なごやで 見つけた いきもの

どんな生きものが見つかったかな？
投稿された生きものの一部をまとめてみました。

レアな生きもの

絶滅危惧レベル (名古屋市レッドリスト2020)



ニホンアカガエル 6投稿

日本固有種のカエルです。赤褐色の体の特徴で、オスは「キョキョキョ」と鳴きます。繁殖期は1～3月で、水田や湿地で産卵します。近年は数が減少し、貴重な存在です。



カキラン 1投稿

夏に柿色の花を咲かせる美しいランです。その独特な色合いと姿は、多くの人々を魅了します。湿地や林など自生地で見つけても採取は控えましょう。



モクズガニ 4投稿

ハサミにモクズのような毛が生えたカニです。幼生期は河口で生育し、成長すると川を遡上するため、河川と海の環境が両方とも健全であることが、モクズガニの生息には重要です。



コロギス 3投稿

森林や緑地に生息し、コオロギ似の体型とキリギリス似の色彩を持つのが特徴。葉を綴って巣を作る珍しい習性があります。都市部で見かけることは少ないため、名古屋では貴重な昆虫です。

特定外来生物

人間の活動により日本へ持ち込まれた外来生物のうち、生態系などへの影響が大きい**特定外来生物**は法律で飼ったり、野外に放つこと等が禁止されています。



オオキンケイギク 9投稿

非常に強い繁殖力で在来の植物を駆逐してしまいます。



アカボシゴマダラ (名義タイプ亜種) 1投稿

在来のゴマダラチョウには翅に赤い斑紋はありません。



アメリカザリガニ 28投稿

かつてウシガエルの餌として持ち込まれましたが、今は条件付特定外来生物。



セアカゴケグモ 12投稿

メスの背中には赤い模様があり、毒があるため、素手で触らないように。

Pick These Up!

見た目がモフモフした生きものを集めてみました。



春の使者 ツバメ



モフモフしたのは実は蛾 アミガサハゴロモ (幼虫)



イネ科の多年草 チガヤ



待ち伏せ型の捕食者 シオヤアブ

参加者の皆様がBiomeで集めた情報については、自然環境の保全に活用されています。例えば、市内における自然共生サイト認定の基礎資料となったり、絶滅危惧種調査のきっかけとしていたり、皆さんのおかげで名古屋の自然が守られているといっても過言ではありません。

自然共生サイト とは？

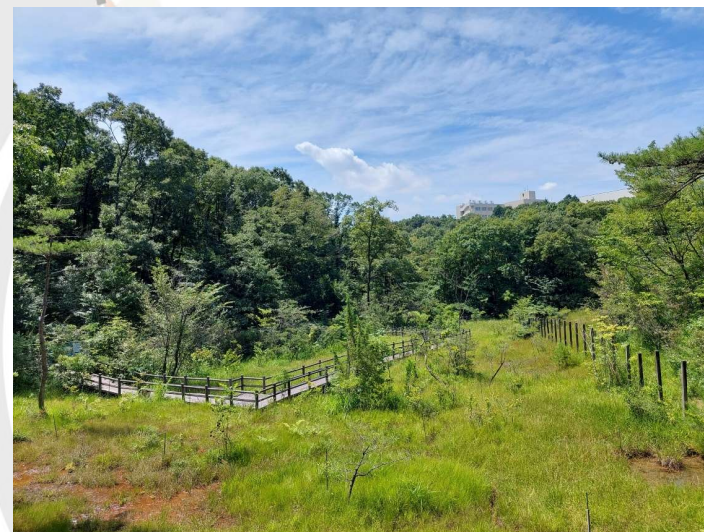
「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域です。簡単に言うと、認定されたサイトは「国も認める価値のある自然」です。価値の認定を受けるためには、動植物のリストや利用状況をまとめる必要があります。その資料の一部に皆様の情報も活用させていただいています。



主に名古屋市有地における自然共生サイト



**なごや東山の森
(千種区・名東区・天白区)**



**八竜緑地・金城学院大学の里山
(守山区)**

生物多様性を守るために、生きもの探しを楽しみましょう！